

二酸化窒素 (NO₂)

(1) 一般局

表1に示すとおり北部、西南部、小立野、西部、中央、駅西局の6測定局全てで長期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図1に示すとおり過去10年間減少傾向を示し、全国平均と比較すると本市は低い結果となった。

月平均値は、図2に示すとおり夏季に値がやや低く、冬季に値がやや高い傾向となった。これは、冬季に石油ストーブやボイラーの使用量が増加するためだと考えられる。

表1 一般局における二酸化窒素の年間測定結果

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1日平均値の年間98%値	1日平均値の最高値	1時間値の最高値
	(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)
北部	365	8696	0.003	0.007	0.011	0.028
西南部	360	8600	0.005	0.013	0.021	0.055
小立野	299	7160	0.004	0.012	0.016	0.043
西部	362	8630	0.005	0.012	0.020	0.040
中央	362	8589	0.005	0.015	0.020	0.169
駅西	362	8632	0.005	0.011	0.015	0.036
本市平均			0.005	0.011		
全国平均(R04)			0.007			
環境基準				0.04~0.06のゾーン内 又は0.06以下(長期)		

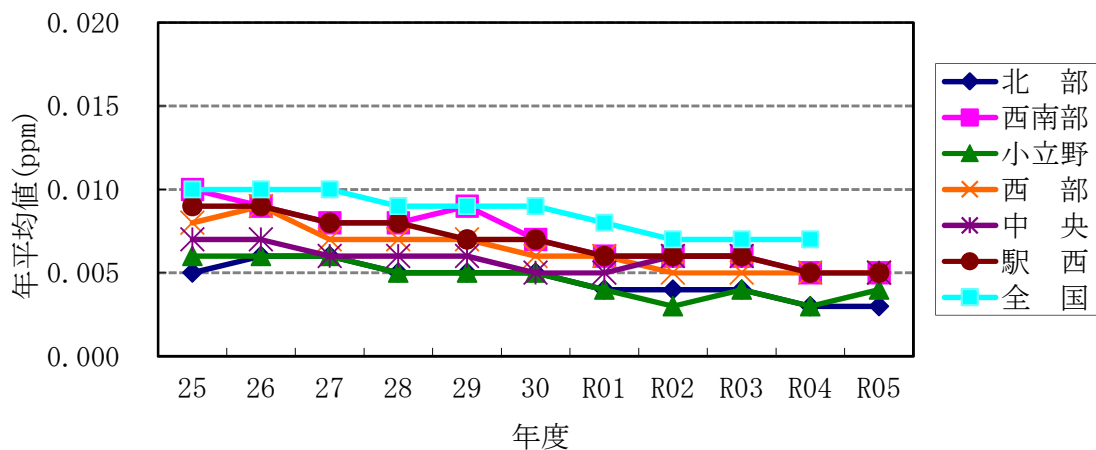


図1 一般局における二酸化窒素の年平均値の経年変化

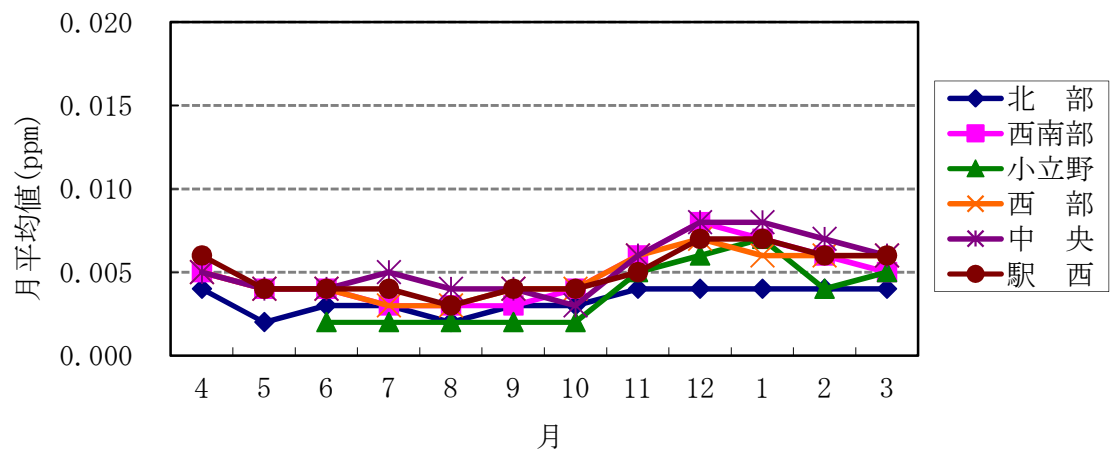


図2 一般局における二酸化窒素の月平均値の経月変化

(2) 自排局

表2に示すとおり自排局の武蔵、片町、山科局の3測定局全てで長期的評価による環境基準を達成した。

年平均値は、図3に示すとおり前年度に比べ武蔵、山科局は横ばい、片町局は減少傾向にある。全国平均に比べ武蔵局は高く、片町、山科局は低い結果となった。

月平均値は、図4に示すとおり一般局と同様に夏季に値がやや低く、冬季に値がやや高い傾向となった。

表2 自動車排出ガス測定局における二酸化窒素の年間測定結果

測定局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1日平均値の年間98%値 (ppm)	1日平均値の最高値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
武蔵	362	8630	0.014	0.021	0.023	0.058
片町	364	8695	0.012	0.020	0.022	0.079
山科	362	8639	0.003	0.006	0.007	0.024
本市平均			0.010	0.015		
全国平均(R04)			0.013			
環境基準				0.04~0.06のゾーン内 又は0.06以下(長期)		

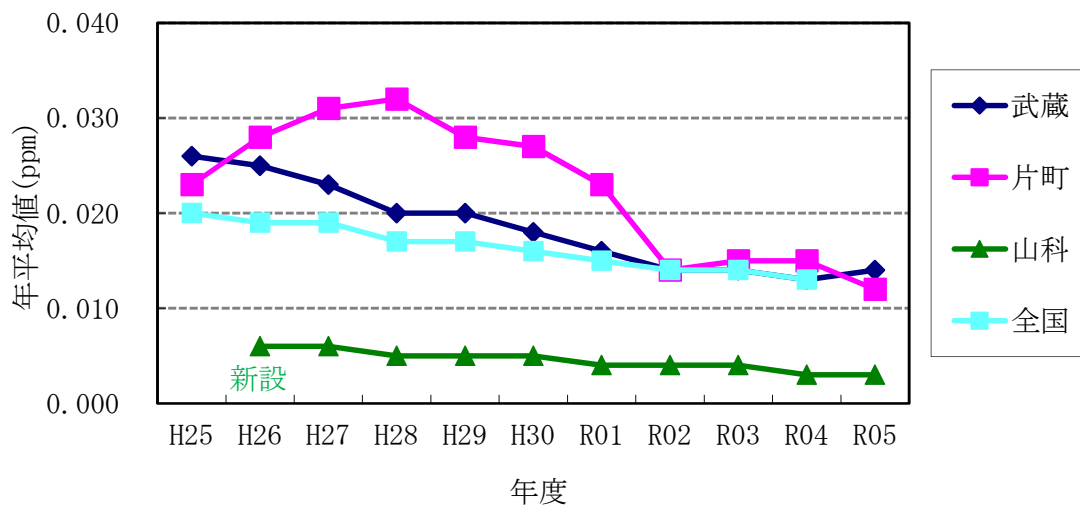


図3 自排局における二酸化窒素の年平均値の経年変化

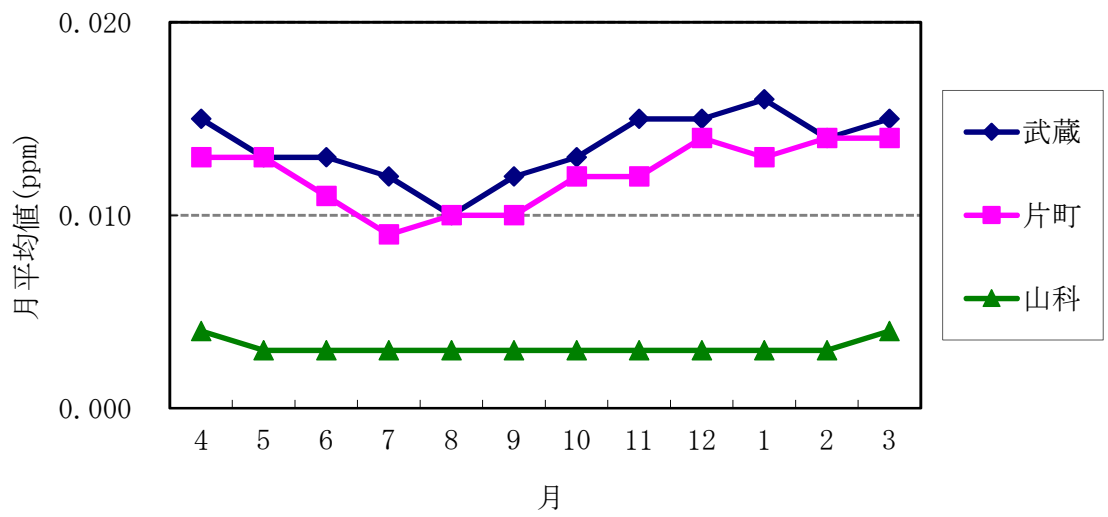


図4 自排局における二酸化窒素の月平均値の経月変化